決算説明資料

2024年3月期 第1四半期

東証スタンダード上場 JPX STANDARD TOKYO LISTED TOKYO STOCK EXCHANGE

Listed Company 4241

2023年8月
株式会社アテクト

2024年3月期 第1四半期
業績総括

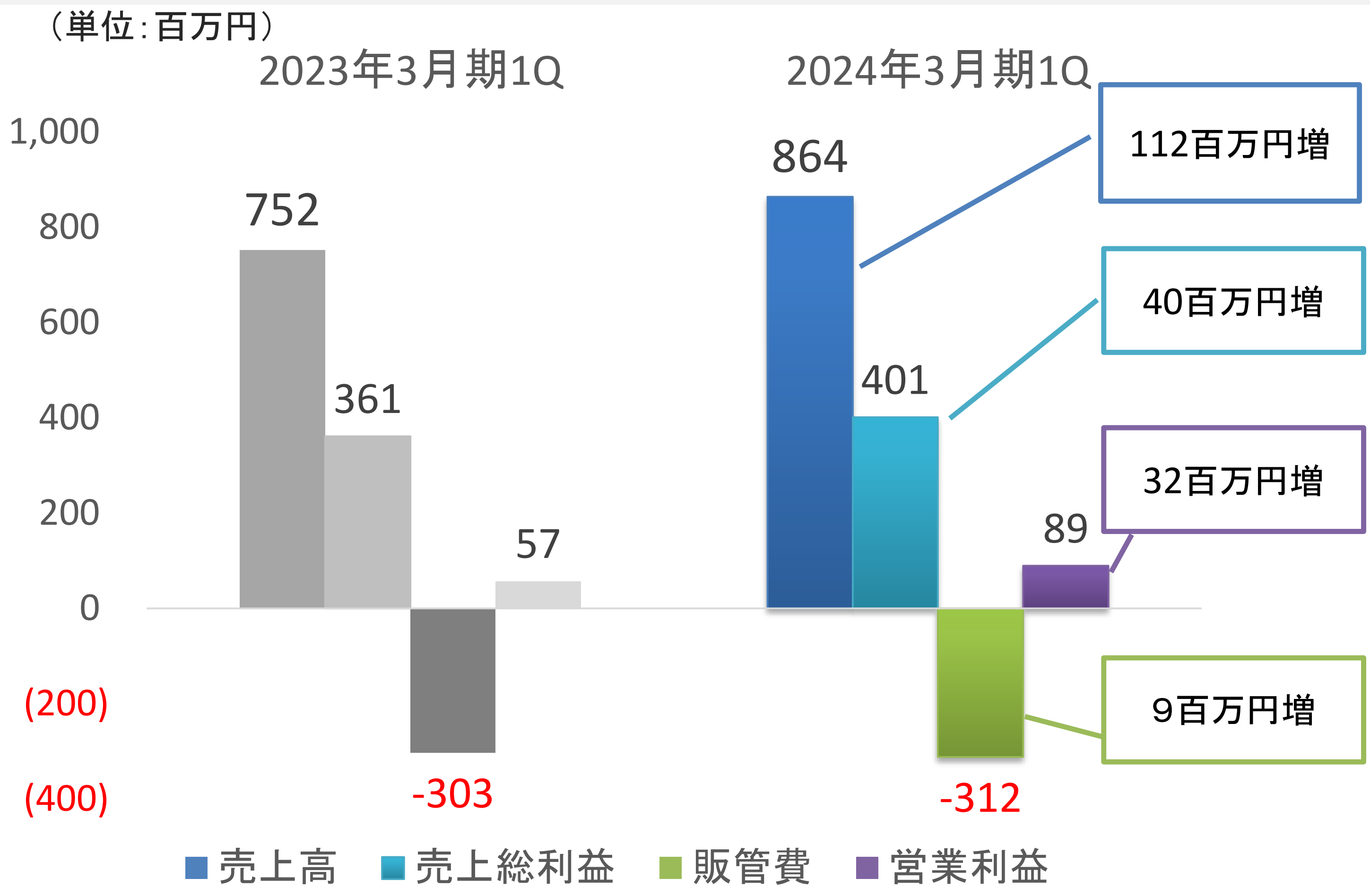
全社連結業績

（単位：百万円）

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減率
売上高	752	864	14.8%
営業利益	57	89	54.3%
	7.7%	10.3%	
経常利益	59	102	71.1%
第1四半期 純利益	54	76	39.4%

●3事業ともに大幅な増収となった
●利益面も好調な滑り出しとなり、営業利益率は10%超えとなった

2024年3月期1Q収益サマリー



・半導体資材　：26.8%増収
・衛生検査器材：7.4%増収
・PIM　：17.2%増収

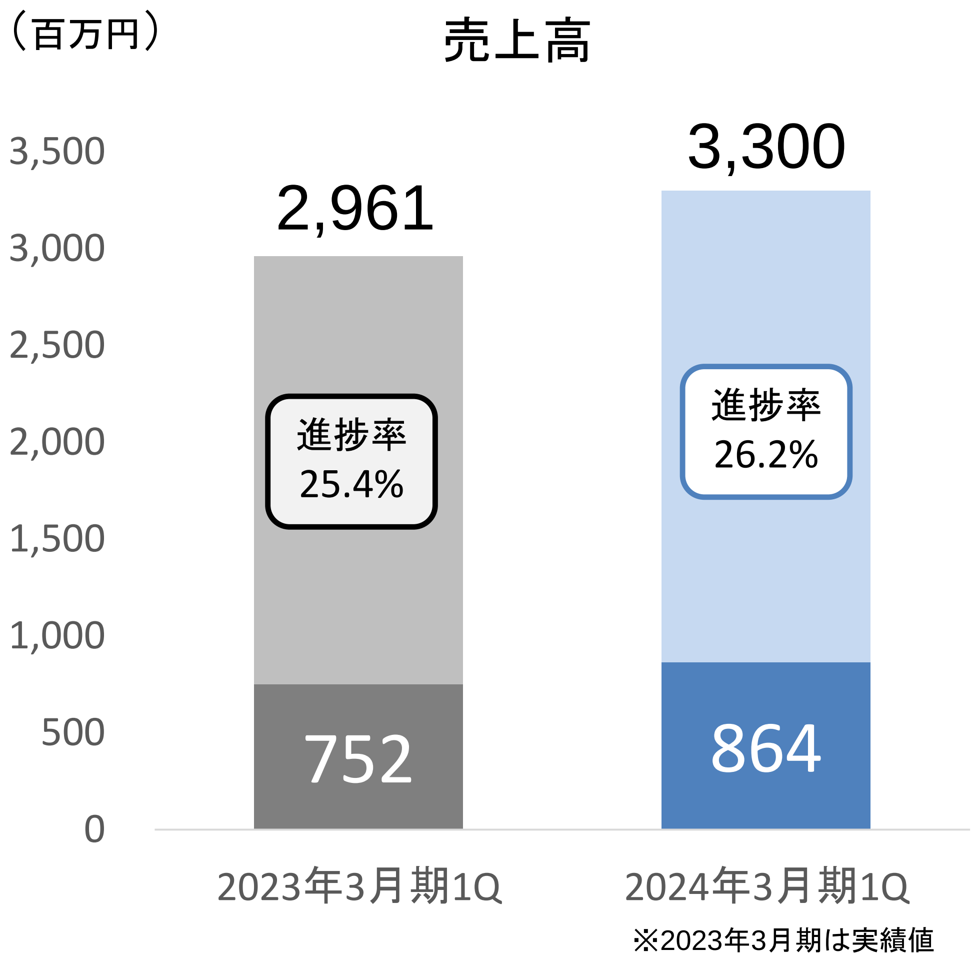
・大幅な増収による良化
・原材料費の高騰による率の悪化
・売上総利益率46.5%

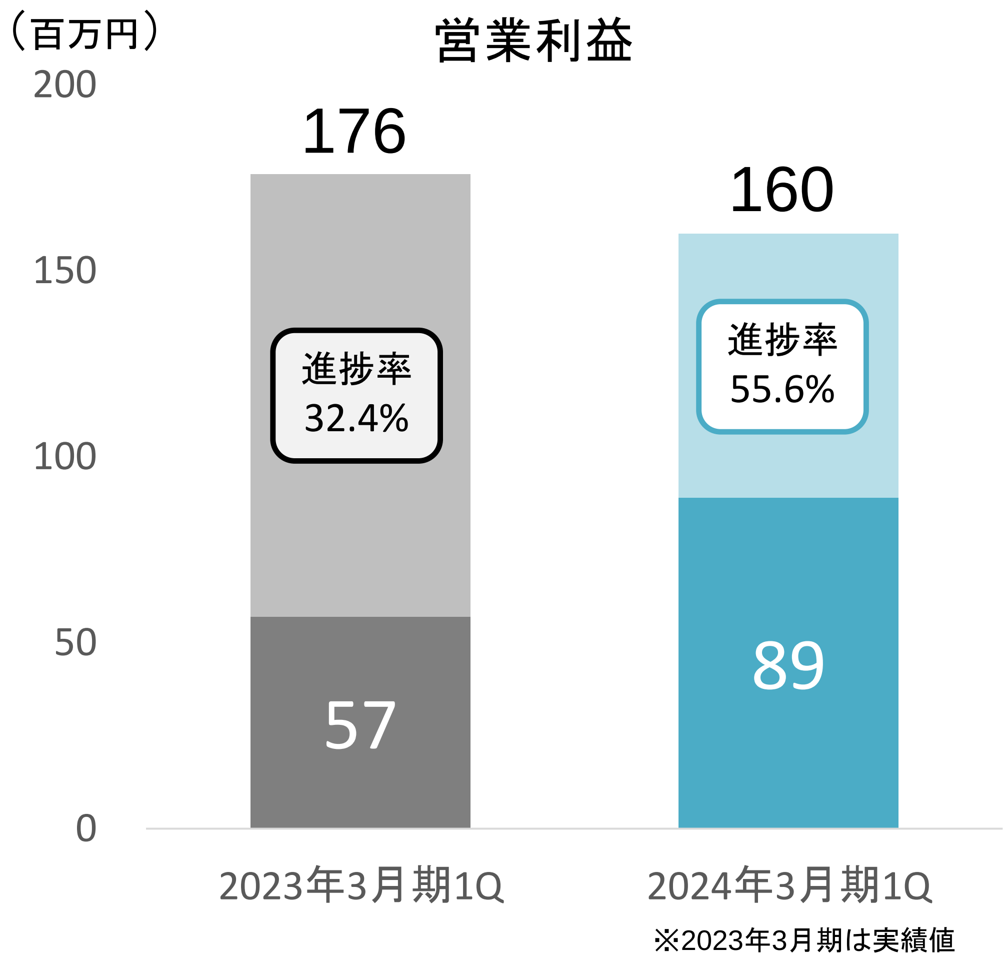
・売上総利益増加による影響
・販管費は増加したものの営業利益率10%超え

・PIM事業開発設備の減価償却増
・業務効率向上による残業費削減

大幅な増収により、原材料費の高騰、減価償却費の増加を吸収して増益

今期計画に対する進捗

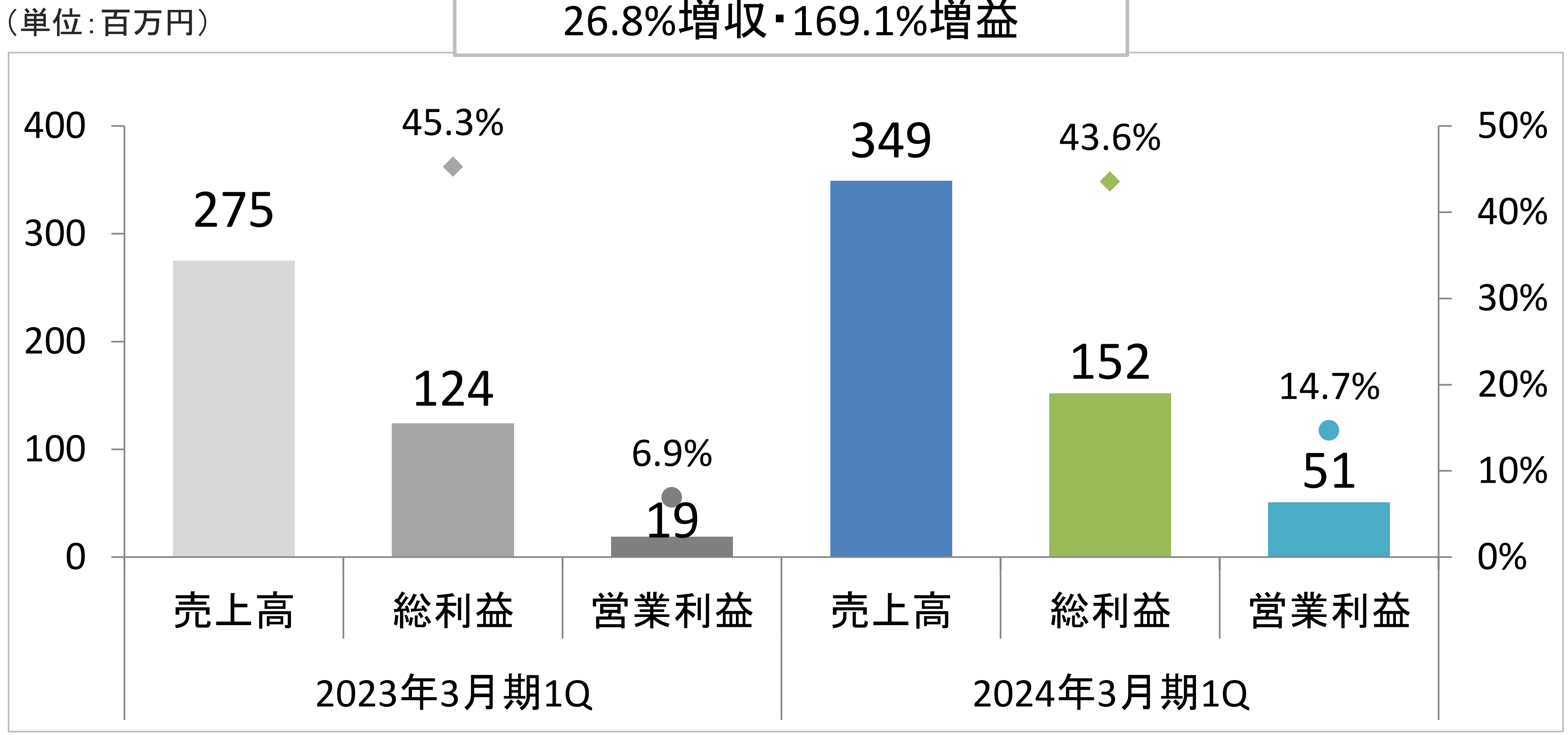




通期業績予想に対して好調なスタートとなった

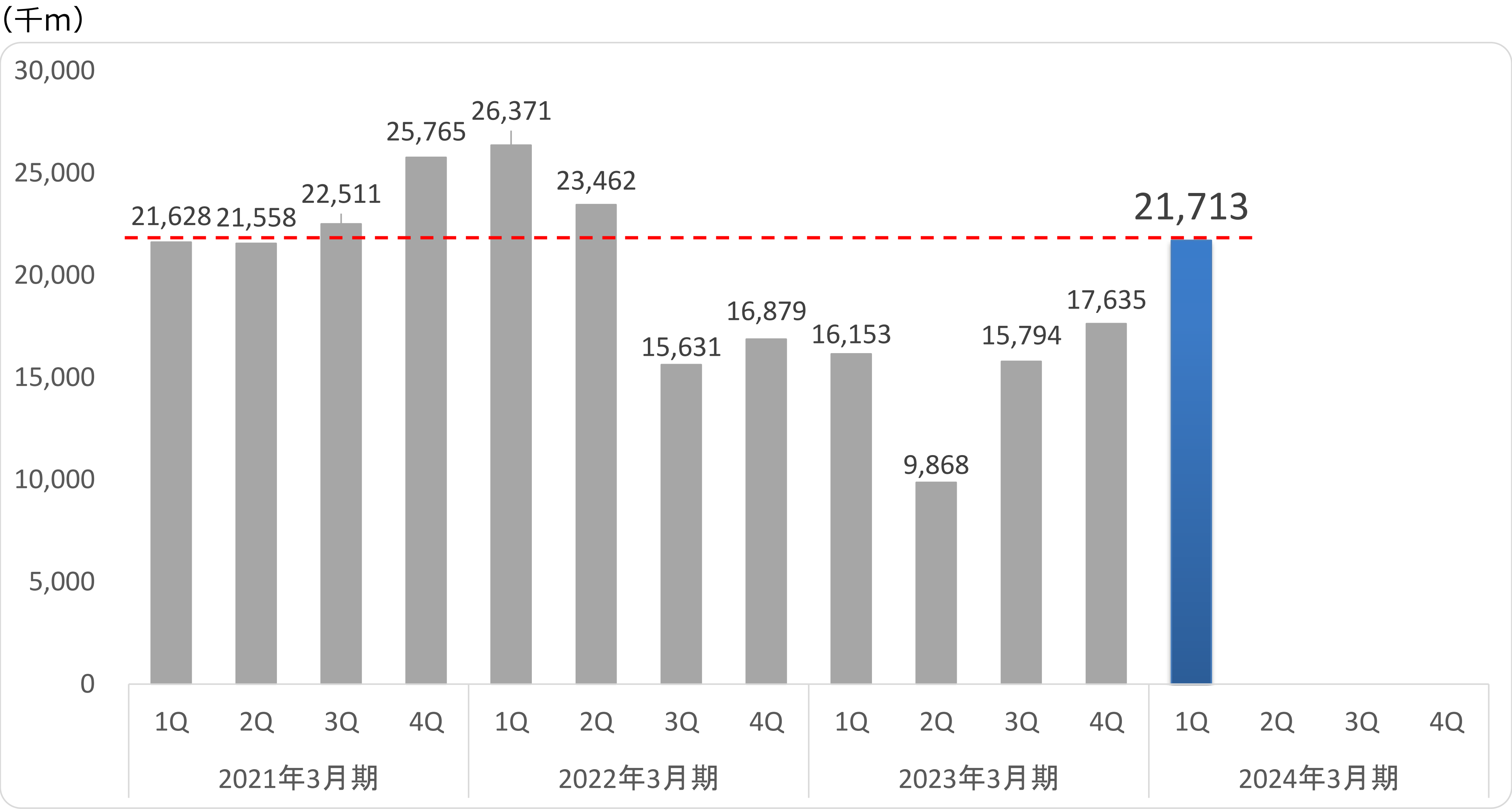
1．半導体資材事業

26.8%増収・169.1%増益



●在庫調整による大規模な減産は解消し、コロナ前の水準に回復
●円安・韓国ウォン／台湾ドル高により売上高約4百万円のプラス影響
※前年同期為替レート比

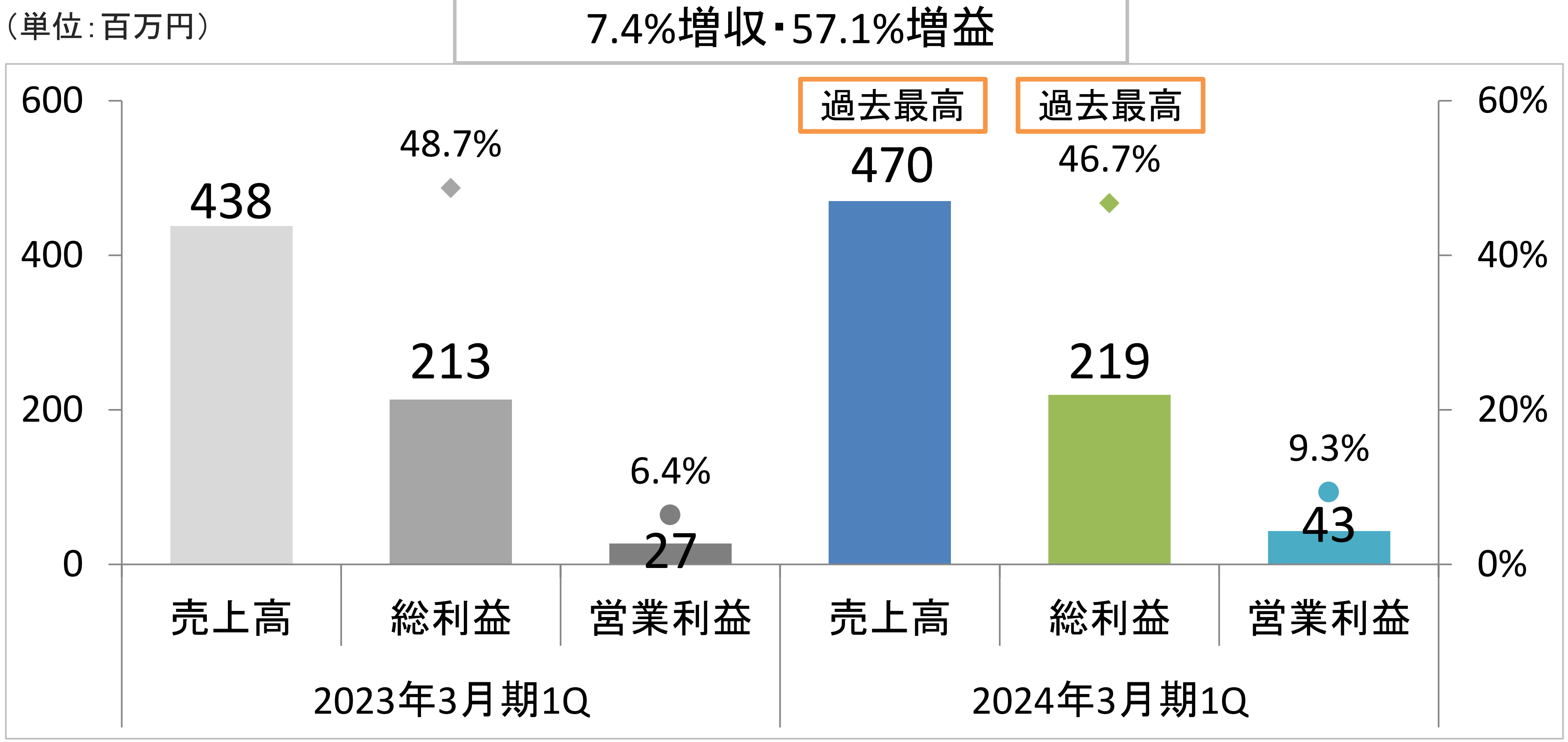
半導体資材出荷数量推移



出荷数量は前年同期比34.4%増加し、2021年3月期前半の水準に回復

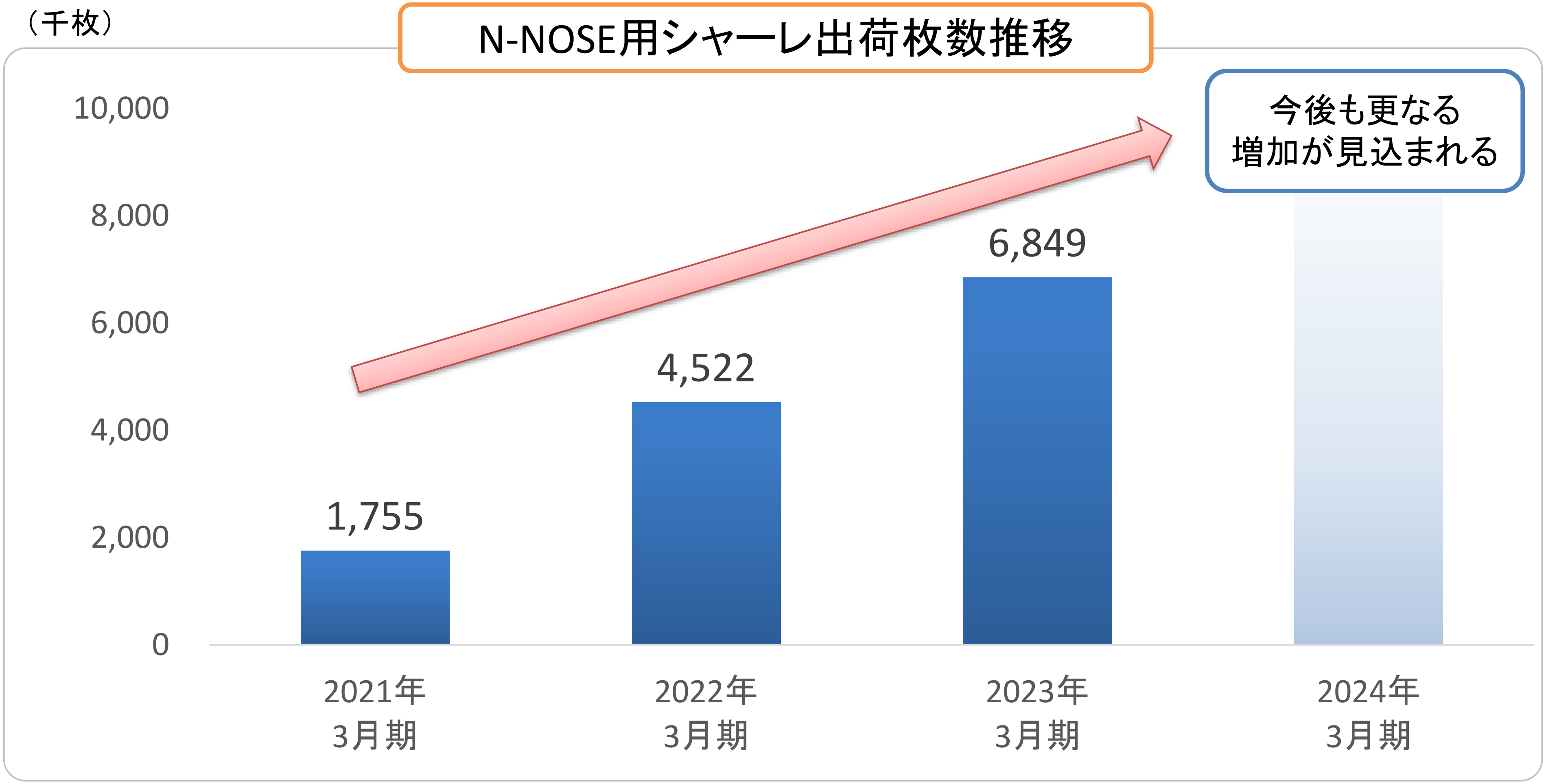
2. 衛生検査器材事業

7.4%増収・57.1%増益



- 第1四半期単独では過去最高の売上高・売上総利益となった
- PS（ポリスチレン）材の価格高騰の影響はあったが、製造合理化による原価低減、販売価格の引き上げにより挽回

N-NOSE用シャーレ生産ライン稼働



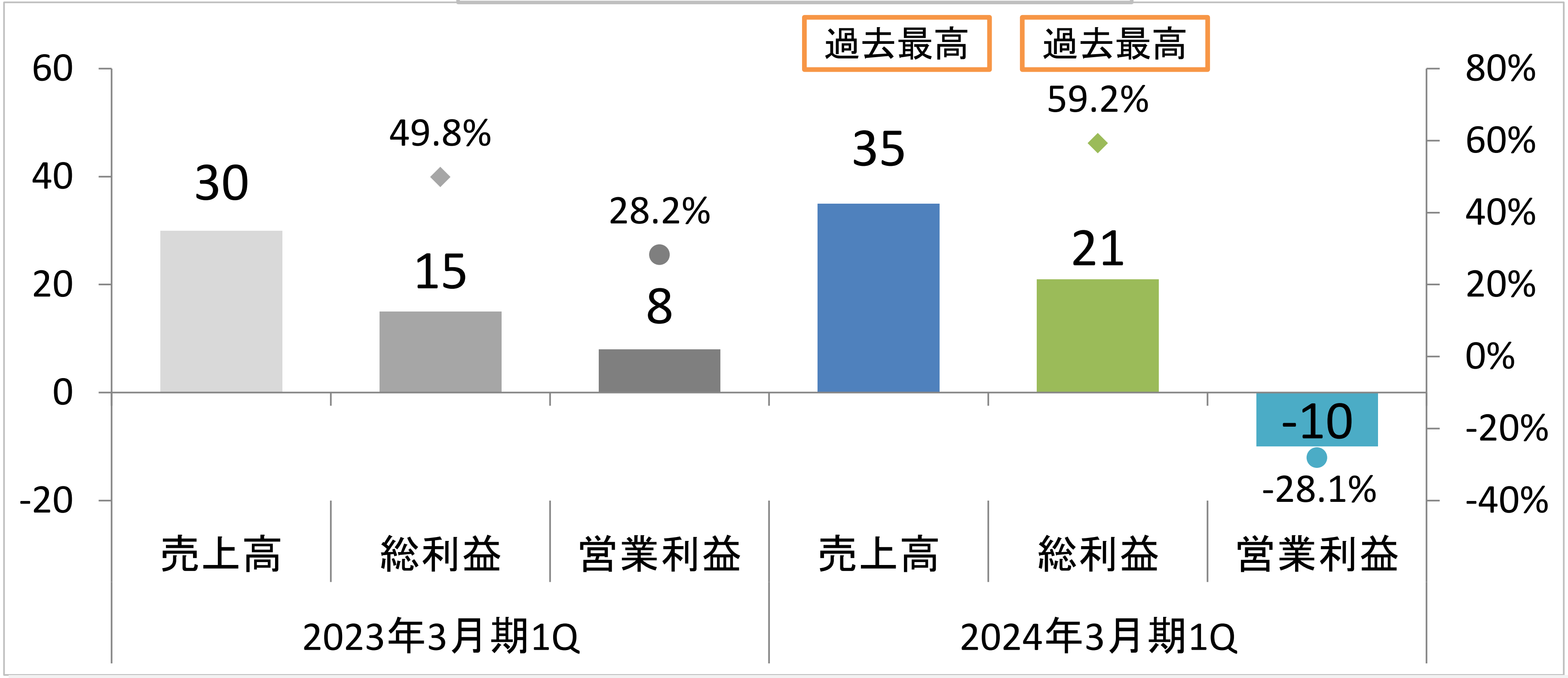
需要増に対応した生産ライン7月末より稼働開始！

日産能力8万枚、最新鋭の生産設備にて更なる需要増加に対応する

3. PIM事業

（単位：百万円）

17.2%増収・216.8%減益



- ●自動車用ターボ部品5アイテムの供給を再開
- ●CMOSセンサー用セラミックス部品等の高機能部品についても好調に推移
- ●自動車用ターボ部品の開発・量産設備の減価償却費の増加により営業赤字
- ●将来の自動車の電動化に向けた窒化アルミ製放熱基板の商品化にも注力

atect-AlN（窒化アルミ）について

■ 他社製AlNとの比較→世界一の熱伝導率

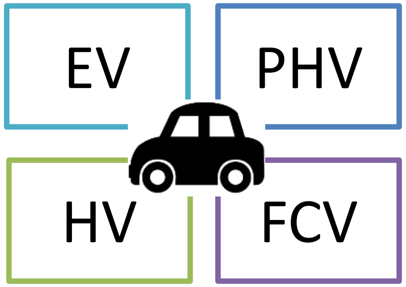
	A社	B社	C社	atect-AlN
熱伝導率 W(m・k)	150～180	180	170～230	257

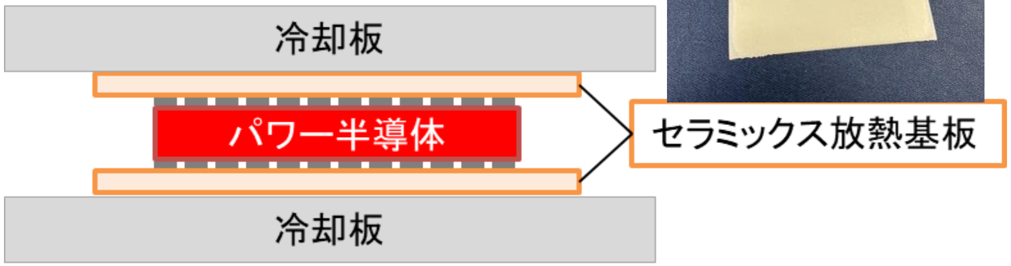
■ 他材料との比較→金属並みの熱伝導率と高い熱放射率

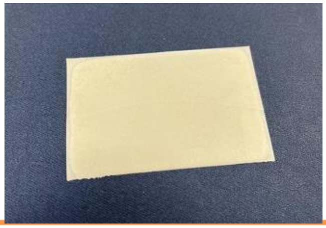
	アルミニウム	銅	atect-AlN
熱伝導率 W(m・k)	236	398	257
放射率	0.04	0.07	0.93

atect製AlNは物性と機能面において他社品・他素材よりも優れている

■ 自動車の電動化・パワーデバイスの高出力化に対応







残された課題解決に取り組み、2027年の市場参入を目指す

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれないようにお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 事業管理部 IR担当
TEL：0748-20-3400
E-mail：ir@atect.co.jp